

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	公共下水道事業(施設管理)				開始年度	平成7年度	
基本目標	公共下水道の整備と水洗化率の向上				終了年度	永年	
担当課(局)	上下水道課	担当係	下水道係	記入者	芥田 賢治	評価者	森 俊彦
21年度決算	47,164	千円	22年度予算	44,184	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,239 千円		22年度人件費	1,229 千円		事業従事者数	0.17 人 0.17 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	快適な生活環境の創造と水質保全を目的として、適正な汚水処理を行うための下水管と浄化センターの維持及び運転管理を行う。
事業の内容	平成8年3月から一部供用を開始し、毎年下水道への接続帯が増える中、平成18年度に処理系等の増設を行い、各家庭より排水される汚水の適正な処理を行うとともに、施設の維持管理を行っている。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 処理水量	毎日の流入水量を測定し、管路の異常の有無を確認するとともに、水量の推移を計測することにより、今後の維持管理・運転の参考とする。
	2 放流水質(BOD)	汚水の適正な処理が出来ているかを確認している中で、供用開始後、良好な水準で汚水処理されていることが確認できる
活動指標	3 放流水質(SS)	汚水の適正な処理が出来ているかを確認している中で、供用開始後、良好な水準で汚水処理されていることが確認できる
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 流入水質(BOD)	適正な汚水処理を行うため、流入水質を測定し汚水処理の機械運転等制御に反映させる
	2 流入水質(SS)	適正な汚水処理を行うため、流入水質を測定し汚水処理の機械運転等制御に反映させる
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	処理水量	目標値	604,075.0	713,520.0	677,020.0	
		実績値	t	648,561.0	647,554.0	
		達成率	%	107.4%	90.8%	
	放流水質(BOD)	目標値	mg/L	15.0以下	15.0以下	15.0以下
		実績値		1.5	1.4	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
放流水質(SS)	目標値	mg/L	10以下	10以下	10以下	
	実績値		1	1		
	達成率	%	100.0%	100.0%		
活動指標	流入水質(BOD)	目標値	mg/L	190	190	190
		実績値		243	250	
		達成率	%	127.9%	131.6%	
	流入水質(SS)	目標値	mg/L	160	160	160
		実績値		235	205	
		達成率	%	146.9%	128.1%	
	0					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	公共性・公益性の観点から町が行うべきであるが、浄化センターの運転管理については、現在実施している委託による管理が適当であると考えられる。 事業廃止は不可能
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	供用開始後の汚水処理は非常に良好であり河川の浄化にも役立っている状況である。 今後は、機械機器の適正な維持管理に努め更新計画を策定し、維持管理費の軽減を図っていく必要がある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	常時水質等の監視を行っているため、水質の変化や水量の増減に迅速な対応が可能となっている。今後は、施設の更新と合わせて経費の節減を図っていく必要がある。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	有資格者が必要な管理面があるとともに地下埋設物の管理という面でありそぐわないと考えている。

